

2024年度 第29回 小金井市少年少女フットサル大会 競技要項

1. 主催 ● 小金井市サッカー協会
2. 運営 ● 小金井市サッカー協会小学部
3. 後援 ● 小金井市教育委員会
4. 期日 ● 2024年12月14日(土) 3年の部 5年の部
12月15日(日) 4年の部 6年の部
5. 会場 ● 小金井市総合体育館大体育室
6. 出場資格 ● スポーツ保険に加入しているチーム。(選手、指導者、帯同審判は必ず加入のこと)
● 指定された期日までに参加申込み手続きをしたチームで、次の基準を満たすこと。
①選手の基準
・大会時に小学生で、原則として小金井市内在住・在学者であること。
②選手登録人数
・1チーム12名以内とする。選手の追加については、選手追加登録票により当該部門大会日の2日前までに協会事務局へ提出すること。代表者会議で渡した選手登録票に追加した選手を記入、コピーして当日本部に提出すること。
③チーム構成基準
・各チームとも、当事者能力のある成人の代表責任者を1名以上必ず置き、代表者会議等全日程に参加できること。
・加盟チームであること。
7. 競技部門 ● 同一部門で複数チームが出場している場合、複数チームに重複して登録はできない。
8. 競技方法 ● 6年生の部、5年の部、4年の部、3年の部の4部門
● 各部門とも3から5チームによる予選リーグののち、ノックアウト方式による順位決定戦を行う。ただし、チーム数によって総当りによるリーグ形式、2位同士のワイルドカードを採用する場合もある。
● 勝敗が決しない場合、予選リーグにおいては引き分けとし、ノックアウト方式による順位決定戦においては、3人によるPK戦を行い、次ラウンド進出チームを決定する。
予選リーグにおける勝ち点は、勝ち=3、引分け=1、負け=0とする。
同一勝ち点の場合は、得失点差・総得点・直接対決結果・コイントスにより順位を決定
- 試合開始時に3名に満たないチームは、その試合を放棄したものとみなし、不戦敗とする。その場合のスコアは0-5とする。
- 選手登録票提出後、キックオフまでに先発選手が出場不可能となった場合は、交代要員の中から補充することができるが交代要員の補充、および変更は認めない。
- 大会中に2度の警告を受けた選手、および退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については、大会規律委員会で決定する。
- 競技規則により累積されるファウルの数は5つとする。今大会はタイムアウトはとることができない。
9. 競技時間 ● 16分のランニングタイム。ハーフタイムのインターバルは2分とする。
10. 競技規則 ● 当該年度の日本サッカー協会制定の競技規則に準ずる。U-15のルールを適用。
11. 用具 ● シューズは裏が紺色か白のフットサル用・体育館用シューズとする。
● ユニフォーム(シャツ、ショーツ、ソックス)は、1着用意すること。
副のユニフォームについてはビブスの着用を認める。
12. 表彰 ● 各部門、優勝・準優勝・3位・敢闘賞の表彰を行い、賞状とトロフィーを授与する。
13. 事故処理 ● 各チームが自チームの選手に責任を持って対応する。
14. 参加申込 ● 加盟チームには別途協会より連絡
期日までに小金井市サッカー協会へ申込み。
● 申込先 小金井市サッカー協会 Koganei.shi.fa@gmail.com
● 問合せ先 080-5540-5089
15. 参加費 ● 2,000円を代表者会議に持参。
16. 代表者会議 ● 12月1日(日) 小金井市総合体育館会議室 18:30~
17. 審判 ● 各チームより派遣された審判員によって行う。ただし、各部門とも決勝戦については大会本部より派遣された審判員によって行う。
● 必ず審判服(シャツ・ショーツ・ストッキング)を着用し、審判に必要な物品は必ず携帯すること。(笛・警告/退場カード・記録用具・時計など)

18. その他

- 選手登録票の提出は、交代要員を含めキックオフの10分前に所定の用紙にて本部に提出しなければならない。
- 代表者会議後の選手登録の追加以外の変更は認めない。
追加選手については、追加登録票にて当該試合日の2日前までに協会へ提出すること。追加選手は代表者会議で協会印を押印した選手登録票に記入し、当日記入した登録票原本とコピーの2部を持参し、コピーを協会に提出する。
- 試合球は、日本サッカー協会検定球（フットサル用）を大会本部が用意する。
- 組み合わせについては、代表者会議にて抽選とする。
- 試合後、審判は試合結果報告書に試合結果と警告、退場者等を記入する。
- 感染症に関しての対応が必要な場合、注意事項は別途お知らせいたします。

2024年度小金井市サッカー協会 小学部共通競技細則

1. 基本的には、当該年度の日本サッカー協会制定の「競技規則」および「8人制サッカー競技規則」に準ずる。
2. 子どもたちの試合に出場する機会を奪わないよう、一部の運用に関して競技細則に明記する。
(上位(13、16)ブロックや全国大会等の競技規則には則さない。)

【小金井市サッカー協会主催の大会への出場資格等】

- 出場資格**
- 市内在住・在学している小学生で構成されたチーム。
 - 小金井市サッカー協会に登録しているチーム。
 - 小金井市サッカー協会小学部の運営委員会(大会・審判・技術)に委員を選出できるチーム。
 - 但し、上記2項目は市民体育祭においてはこの限りではない。
 - 選手・指導者・審判はスポーツ保険に類する保険に加入しているチーム。
 - 成人がチームの代表権を有するチーム。
 - 原則として土・日に試合ができるチーム。
- 出場資格喪失**
- 代表者会議(監督会議)に出席しないチーム。
 - 決められた試合の審判を出さないチーム。(派遣審判の場合は除く)
 - 退場を受けた選手は次の1試合は出場停止とする。
- 登録選手用具について**
- 各大会への登録選手数は制限しない。
 - 原則、背番号、胸番号のついたユニフォームを着用し、キーパーを含め相手チームと色が見分けられるようにする。但し、3年以下は、キーパーを含めビブスや胸番号なしのユニフォームでも可とする。
 - アンダーウェアについては、チームで統一すること。
 - ユニフォームは必ず1着は持参すること。但し3年以下は除く。
 - フィールドプレイヤーがゴールキーパーと交代する場合、ゴールキーパーのユニフォームを着用する。
審判の承認を得た場合には、他のフィールドプレイヤーと異なる番号であれば、選手固有の番号と異なるゴールキーパーのユニフォームを着用することを認める。
 - 当該チームのユニフォームが同色または同系色の場合は、ビブスの着用を認める。
 - 何らかの理由で、ゴールキーパーのユニフォームを着用せず、ビブスを着用して試合に出場する場合は、審判に理由を伝え承認を得た上でビブスの着用を認める
 - 予め試合の途中(または後半から)でフィールドプレイヤーとゴールキーパーの交代を予定している場合、ゴールキーパーのビブスの着用を認める。但し、パンツ、ソックスはフィールドプレイヤーと同色のものを着用すること。
 - 特例としてゴールキーパーのユニフォームを着用したいが、正副1着ずつしかゴールキーパーのユニフォームがなく、試合の途中(または後半から)で交代する場合で、コロナ禍の感染対策等でユニフォームの着回しを行っていない場合は、ゴールキーパーのユニフォームの上からビブスの着用を認める。
但し、パンツ、ソックスはフィールドプレイヤーと同色のものを着用すること。
 - ベンチの控え選手は試合に出場している選手が着用しているビブスと異なる色のビブスを着用すること。
 - 靴は運動靴あるいは固定式スパイクとする。(スパイク禁止会場もあるので注意事項を確認すること)
 - すねあては必ず着用する。
 - 試合前には装飾品は必ずはずすこと。
 - 試合球は4号球とし、試合当該チームで持ちより、それを使用する。
- 試合の不戦敗**
- 東京都サッカー協会およびブロック主催の公式戦・学校(主となる)行事以外で、正当と認める以外の理由により、予定されていた試合に出場できなくなった場合は、棄権とみなし不戦敗とする。
 - 棄権となった場合は、0-5とする。
 - 遅延チームへの対応は、時間に都合が付き、各チームの了承を得た上で試合を組むことはできるが、その場合も参考試合とする。
 - 特に指定がない場合は、試合開始時に6人に満たない場合は試合を行わない、または参考試合とするが不戦敗とする。
- 審判**
- 審判割り当てがある場合は、大会要項、競技細則を確認の上、割り当てられた審判をする。
 - 審判は審判服を着用すること。(シャツ・ショーツ・ストッキング、ワッペン)
但し、冬季等で寒い場合、補助審は防寒具の着用は可とする。
 - ベンチの指導者が責任ある態度で行動しない場合、ベンチから立ち退かず事ができる。出来事に関しては運営結果報告書に必ず記入する。
 - 試合後に主審は補助審と試合結果を確認し、試合結果報告書に試合結果と警告、退場者等を記入する。
 - 選手同様装飾品は必ずはずすこと。
 - 試合中天候不順(特に雷)の対応は、主審と会場責任者の裁量で判断し決定する。
 - 給水タイムを設ける場合、1分以内とし、空費した時間をアディショナルタイムとして追加する。
 - 主審、補助審の役割分担を明確にし、適正なレフェリングを心がけること。
- 尚、4年生以下は1審判制とし、5年・6年は4審判制とする。

- 競技規則
- 特に指定がない場合は8人制とする。
 - 各大会における特別規則(要項に明記)および上記以外の規則に関しては、当該年度の日本サッカー協会制定の「競技規則」および「8人制サッカー競技規則」に準ずる。
 - 交代の制限が無い自由な交代とする。
 - ゴールキーパーはアウトオブプレーのときに主審の許可を得てハーフウェーラインで交代を行う。
 - **飲水タイムがある場合、飲水タイム中の交代は認めない。(クーリングブレイクも同様)**
 - キックオフから直接相手ゴールに入った場合は得点を認めず、相手チームにゴールキックが与えられる。
 - PK方式は両チーム3人ずつの競技者がキックを行う。決しない場合、以降はサドンデスとなる。
- 会場責任者
- 会場担当者は運営結果報告書、試合結果報告書を原則翌日までに提出すること。試合会場での問題等や、審判の見ていない事項等、その他を報告する。
 - 重大な事故、ケガが発生した場合は、速やかに会場責任者は運営委員長へ報告し、経過に関してはチームより運営委員長へ報告のこと。

【試合会場ごとの注意事項】

- 共通
- 周辺道路に車を止めての応援は行わない。
 - 会場到着時に選手登録票を提出し、5分前に本部に集合し、選手および用具のチェックを受ける。
 - ベンチには指導者計5名までと登録された選手のみとし、応援はベンチの反対側とする。
 - 応援は原則、ベンチと反対側のサイドで、選手への指導・指示はしない。
- 上水公園
- 試合会場には原則として車の使用を不可とする。但し、ケガ等の対応として**各チーム1台のみ**乗り入れを許可する。(会場の状況によっては、乗り入れが不可となることもある。)
 - 車に関しては保護者や観戦者にも徹底すること。
 - **上水公園運動施設グラウンドの駐車場はグラウンド東側駐車場を使用し、管理棟横(テニスコート隣接)の駐車場は使用不可とし厳守すること。**
- 小金井公園
- 駐車場は有料の駐車場を使用すること。
- 多目的広場(サッカー場)
- 試合中はグラウンド内の出入り禁止。(ハーフタイムもしくは試合と試合の間のインターバルタイムにグラウンドに出入りすること)
 - グラウンド出入口付近での観戦、歓声禁止。
 - ゴール裏での練習禁止。
 - サッカー場外の公園内はボールを使用しての練習禁止。(多目的広場(野球場)が空いている場合は、その中でのボールを使用した練習は可能)
- 学芸大グラウンド
- 自転車はグラウンドの出入口付近には置かないこと。第1むさしのホール第一食堂の道路祖沿いに整列して置くこと。
 - 雨天の場合は別途学芸大より指定された部屋が控え場所になりますが、ごみは必ず持ち帰ること。
 - トラック内には決まった場所から出入りすること。
 - カメラやビデオ等の三脚については、節度をわきま使用すること。協会より指示があった場合は従うこと。
 - 指定された場所以外は立ち入らないこと。
 - 使用にあたり別途指示があった場合は、必ずその指示に従うこと。
 - 車での来場は禁止。
- 体育館
- 大体育室を利用の際は、必ず外履きを入れる袋を持参し、入口で持参した袋に外履きを入れてから、大体育室へ移動してください。
 - 大会以外は写真・ビデオ撮影は禁止となっています。
 - 大会以外はギャラリー(観戦席)を開放していませんので、フットサルリーグでは使用できません。
 - 大会、フットサルリーグでの諸注意を各チームで周知徹底してください。
- 市内各校
競技細則改訂
- 入場時間、車等に関しては会場提供チームの指示に必ず従うこと。
- 【2024年6月24日】